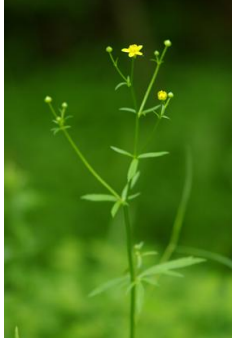
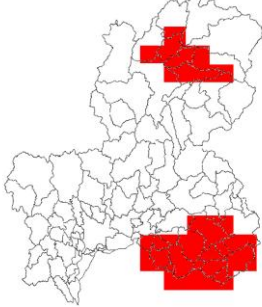


オトコゼリ	<i>Ranunculus tachiroei</i> Franch. et Sav.	絶滅危惧Ⅱ類	
		キンポウゲ科	
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。	写真(山崎玲子) 	
形態の特徴	茎は直立し、高さ35-100cmになり、上部でよく分枝する多年草。葉は2回3出複葉。花期は5-8月。枝先に径10-15mmの黄色の5弁花をつける。集合果はほぼ球形で径約1cm。		
生態的特徴	田の縁や川岸などの日当りのよい泥地に生える。		
分布状況	本州、朝鮮に分布する。県内では県南の南東部に生育する。県北にも生育する地域がある。		
減少要因	本種の分布域は県南の南東部及び県北の1地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。		
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。		
特記事項			
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)		

文責:佐藤和良